

# － 山羊の病気と衛生対策 －



沖縄県中央家畜保健衛生所

## 病気にはどうしてなるのか？

★強毒の病原体に感染する。

★免疫力(抵抗力)が弱くなる。

## 病原体はどこから来るのか？

★他の農場から持ち込まれる。

★すでに農場内・山羊にいる。

病気を防ぐ

秘訣

その1: 農場へ病原体を入れない  
その2: 健康に育てる

## 実践

# 農場へ病原体を入れない

● 是非実践！ ● なるべく実践！ ● できれば実践！

## 1. 他人に持ち込ませない

- 立入禁止の札をする
- ロープを張る
- カギをかける
- 石灰を散布する



## 2. 自分が持ち込まない

(他の農場、セリ市場、共進会から帰る時)

- 長靴を替える(消毒)
- 帽子、作業着を替える
- 車の洗車、消毒をする



## 3. 山羊に持ち込ませない

(山羊を買うとき、買ってきたら)

- 健康状態をよく観察する
- すぐに農場の山羊と一緒にしない



## 実践

# 健康に育てる

● 是非実践！ ● なるべく実践！ ● できれば実践！

## 1. ストレスをかけない

- 畜舎はジメジメさせない
- 畜舎は熱をこもらせない
- エサは良質なものを十分に
- 削蹄、除角する

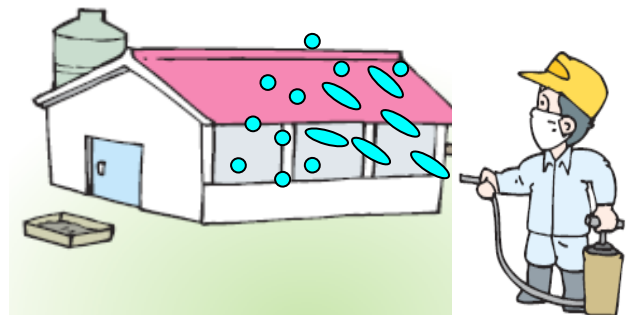
## 2. 駆虫する

- お産前後(春先)
- 山羊を買ってきた時
- できれば秋にも



## 3. 畜舎の消毒をする

- お産前までに
- 離乳した子山羊のところはこまめに
- 水洗い→乾燥→消毒薬



# 監視伝染病とは

獣医師あるいは家畜の所有者が病気を発見した時、家畜保健衛生所に届出を行う必要のある病気。

家畜伝染病予防法で定められる家畜伝染病（いわゆる法定伝染病）と届出伝染病の総称です。

## (1) 法定伝染病（山羊）

1. **口蹄疫** (2010宮崎県で発生)
2. 炭疽
3. 出血性敗血症
4. ブルセラ病
5. 結核病
6. ヨーネ病
7. 伝達性海綿状脳症
8. 流行性脳炎
9. 牛疫
10. 狂犬病
11. リフトバレー病

## (2) 届出伝染病（山羊）

1. ブルータング
2. アカバネ病
3. チュウザン病
4. 気腫疽
5. 類鼻疽
6. 伝染性膿疱性皮膚炎
7. 伝染性無乳症
8. トキソプラズマ病
9. 山羊関節炎・脳脊髄炎
10. 山羊伝染性胸膜肺炎
11. 山羊痘
12. ナイロビ羊病
13. 小反芻獣疫

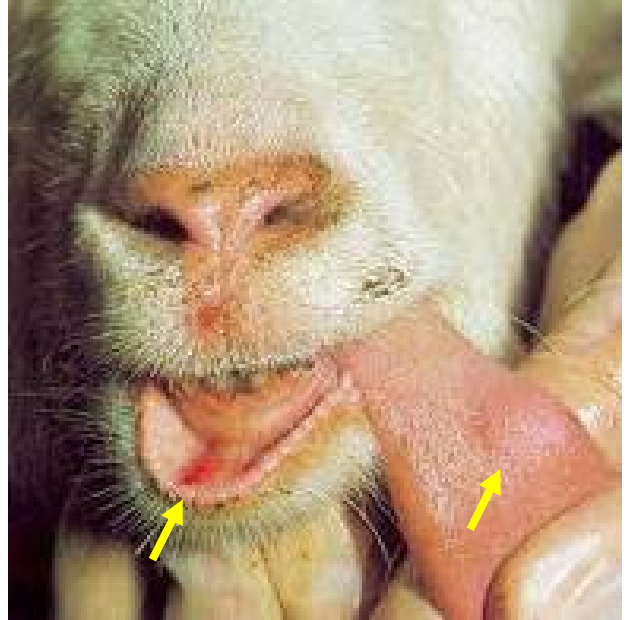
\* 緑字：沖縄で発生があった病気、下線：牛で発生あり

監視伝染病あるいはその疑いがあるときは、家畜保健衛生所に連絡しましょう。

# 法定伝染病

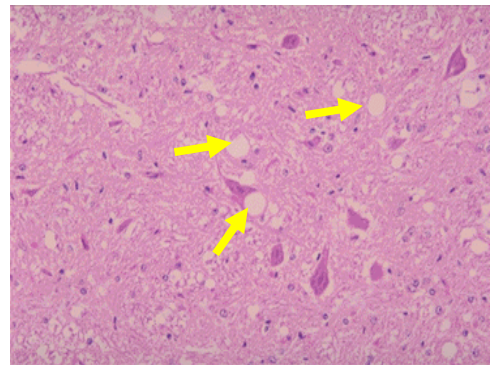
## 口蹄疫

原因：口蹄疫ウイルス  
症状：口周囲や蹄、乳頭に水疱を形成  
\* 山羊は判りにくい  
対策：患畜及び接触動物の殺処分



## 伝達性海綿状脳症 (TSE)

原因：異常プリオン  
(蛋白質の一種)  
症状：運動失調、沈うつ、  
掻痒 (かゆがり)  
\* と畜する際必ず検査実施。



矢印：異常箇所 (空胞)

## ヨーネ病

原因：ヨーネ菌  
症状：長期間、頑固な下痢



肥厚した腸管

# 届出伝染病

## 伝染性膿疱性皮膚炎

原因：パラポックスウイルス  
症状：口唇、鼻に丘疹、膿瘍（うみ）が多発



## 伝染性無乳症

原因：マイコプラズマ  
症状：雌山羊 乳房炎  
子山羊 肺炎  
関節炎



## 山羊関節炎・脳脊髄炎 (CAE)

原因：CAEウイルス  
症状：成山羊：関節炎  
子山羊：脳炎、肺炎  
\*関節炎の発症率は低い



# 一般疾病(寄生虫)

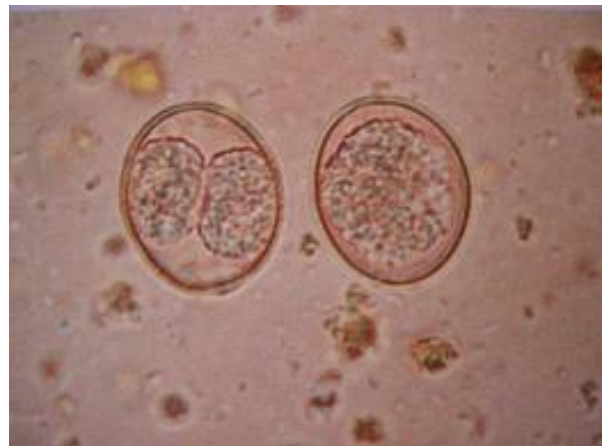
## 捻転胃虫症

原因：捻転胃虫が第4胃で  
多数寄生し吸血する  
症状：貧血、下痢、やせる



## コクシジウム病

原因：コクシジウム原虫が  
が増えて腸粘膜を壊す  
症状：下痢（ひどいと血便）  
\*子山羊の時期が症状重い



## 腰麻痺

原因：牛に寄生する指状糸状虫が脳脊髄に入る。  
（\*蚊が牛→山羊へ感染させる）  
症状：腰～後肢の麻痺(典型例) など  
対策：牛舎の近くで飼わない  
駆虫剤の投与、蚊の防除



# 主な植物中毒

キョウチクトウ、モロヘイヤ、フクジュソウ



有毒物質: 強心配糖体  
症状: 痙痛、下痢、食欲不振、  
頻脈等の心臓症状

レンゲツツジ、アセビ、ハナヒリノキ



有毒物質: グラヤノトキシン  
症状: 嘔吐、泡沫性流涎、  
四肢開張、腹部膨満など

センダン



有毒物質: メリアトキシン  
症状: 食欲不振、嘔吐、下痢、  
便秘、興奮、けいれんなど

# 主な植物中毒

## カタバミ、ギシギシ



有毒物質：可溶性シュウ酸  
症状：流涎（よだれ）、胃腸炎、  
重度の下痢、筋肉の振  
せん、瞳孔散大など

## オトギリソウ、ソバ



有毒物質：光感受性物質  
症状：無毛部の皮膚炎（ただ  
れ）

## ソテツ



有毒物質：サイカシン  
症状：後駆の運動失調（牛）

# 注意が必要なその他の中毒

## エンドファイト中毒



原因：輸入イタリアンライグラスに含まれるカビ毒（エンドファイト毒素）。

症状：起立不能、頭頸部・四肢の痙攣等

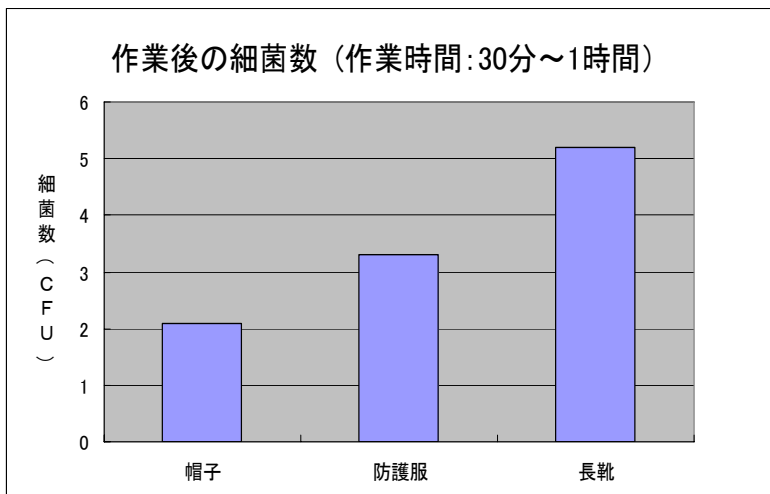
対策：カビ毒を多量に摂取した場合に起きるので、他のエサと混ぜて給与する。

\*沖縄でも牛での発生あり。

# 消毒の必要性

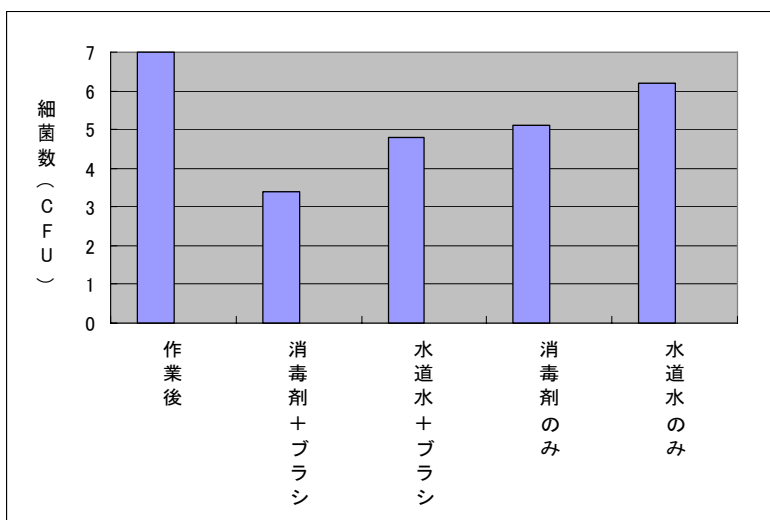
## なぜ消毒は必要？

ウイルスや細菌などの病原体を侵入・増殖を防ぐ手段です。



○身に着けているものも汚れていく(菌が増える)

→着替え・洗濯(消毒)は必要です。



○靴底の消毒

消毒槽に踏み込むだけよりブラシを使うと効果的！

# 消毒の仕方(その1)

## 畜舎入口・踏込み消毒槽

糞、泥をブラシできれいに落とすと効果アップ



- 一般消毒薬  
決められた濃度にして消毒槽で使う
- 1～10% 消石灰乳剤 (口蹄疫対策)



※消石灰は強アルカリ性  
ですので吸い込んだり、  
目に入ったりしないよう防  
塵メガネ、マスク、手袋を  
着用して下さい。

消石灰0.1～1kg + 水10リットル



※1週間程度を目安に 交換して下さい

長靴が十分  
浸かるよう  
に!

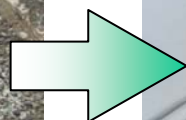
# 消毒の仕方(その2)

## 長靴

- \* 消毒前に糞、泥をタワシなどで落とす
  - \* できるだけ2足用意→①農場用と外出用に分ける  
②毎日交互に使用する
- ・クルマの乗り降り時には手動噴霧器を利用する



- ・1日の作業終了後は洗い→消毒→乾燥がベスト



# 消毒の仕方(その3)

## 車両(クルマ)

### □ 外側 : 手動噴霧器を用いた消毒

- ・タイヤ回りは念入りに！
- ・特に糞などが付着しやすい部分(荷台など)を重点的に！



□ 内側 : 霧吹きを用いた消毒

○ ハンドルなど

- ・消毒薬を霧吹きしたり、布などに浸し拭き取りましょう！

○ マット

- ・直接靴底が触れるため、スプレー等で消毒して乗車！
- ・定期的に車外に出し清掃・天日干し等を心がけましょう！





# 参 考

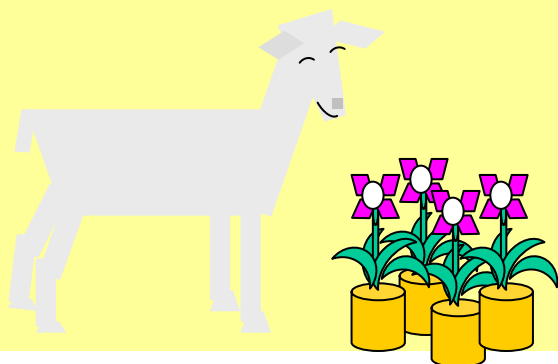
## 口蹄疫ウイルスに有効な消毒薬

分類	製剤名	効果のある希釈倍数
塩素系	アンテック ビルコンS	2,000倍
	クレンテ	2,000倍
	スミクロール	1,000倍
ヨウ素系	バイオシッド	1,000倍
	リンドレス	1,000倍
	クリンナップA	400倍
	ファインホール	400倍
アルデヒド系	グルタクリーン	800倍
	ヘルミン	800倍
その他	クリアキル-100 (0.1% 苛性ソーダ添加)	2,000倍
	消石灰	
	炭酸ソーダ	4%

山羊の気持ちになって

『じょうとぅ〜!』な

山羊を育てましょう



# 異常を発見したら

- いつから？
- どんな症状？
- 2、3週間前から当日まで変わったことは？  
エサ、山羊の導入、暑さ・寒さ・湿気などの環境
- 一緒にいる山羊は大丈夫？
- 他に何か気づいたことは？

連絡・相談して下さい

病気の検査、消毒などの衛生管理は

中央家畜保健衛生所

南城市大里字大里2505 Tel : 098 - 945 - 2297

病気の治療は

(1) 農業共済組合・家畜診療所

・中央家畜診療所

Tel: 098 - 945 - 1027

・中央診療所中部支所

Tel: 098 - 965 - 5661

(2) 開業獣医師